

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	上越市こども発達支援センター（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年7月1日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年7月1日		～ 令和7年12月26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取り組み等	さらに充実を図るための取組等
1	保育及び児童発達支援の経験を有する保育士が「保所等訪問支援」を担っている。	保育士として、園と一緒にお子さんの発達段階を踏まえた園生活の支援を考えることができる。	園と一緒に支援を考える中で、必要な視点を共有し、園の育ちを支援する。
2	心理士や作業療法士等多職種で連携し、具体的なアドバイスをもらい、支援にいかすことができる。	お子さんに応じて、心理士や作業療法士等、多職種で連携し、行動面や身体の動きの支援を検討している。	サービス終了後も必要な支援が継続するよう、多職種間の連携を強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関への取り組みの発信が不十分。	関係機関へ周知する際の説明が、具体的な事例に沿った内容でなく、理解しづらい。	園や相談支援専門員に本事業の内容を理解してもらうよう、発信の内容を考える。